



健康創造住宅ニュース

2008年 5月号

1. 毎日できる簡単アレンジメント デスク編

心地よい春も終わりに近づき、日に日に暑さが増してきました。もうすぐジメジメとした梅雨の季節がやってきてしまいます。梅雨時期のジメジメ感、心も気分も暗くさせがちです。そんな気持ちを少しでも晴れやかにするために花や植物を取り入れ、インテリアを華やかに演出しましょう！先月号では、食卓の簡単アレンジメントを紹介しましたが、書斎や職場のデスクなどにも取り入れ、気持ち良く作業をしたいものです。今月は『毎日できる簡単アレンジメント デスク編』を紹介いたします。



デスクにおすすめの一輪挿し！！

何本かの花を組み合わせてアレンジするには慣れていないとなかなか上手くアレンジできません。そんな方におすすめの一輪挿しを今回はご紹介いたします。



4本の試験管つき花器 divide4という名のこの花器は、アメリカンチェリーのベースに、試験官を立てたものが4個セットされており、これらを組み合わるとひとつの正方形になる花器です。花を入れる部分が試験官ということで細いお花を1本入れるだけでサマになり、「どれを組み合わせようか？」とか、「長さをどうすればバランスが良いか？」など、面倒なことを考えずに済む点が第1点目のおすすめポイントです。第2点目のおすすめポイントは、それぞれのベースが異なる形をしているので、組み合わせ方によって様々な表情を見せてくれる点です。離してみたり、パズルのようにピタッと組み合わせてみたりと、様々な方法で楽しむことができます。

右の写真のように、奥行きのない場所でも、横一列に並べるととてもかわいいし、ひとつひとつ別の場所に飾っても良いと思います。遊び心を刺激する大変ユニークなデザインで2セット、3セットとプラスしていくことで、多彩な使い方が可能です。また、お手頃価格のため、プレゼントにも最適です。



普段はアレンジしにくいひょろっとした茎の花が、この花器を使うと誰でも手軽に素敵に演出できる点が最大のポイントです。試験管の細さのわりには木のベースがしっかりしたデザインなので、長い花でも短い花でもバランス良く見せることができます。このようなフラワーベースを使えば茎の長さや花器のバランスなど細かい点を気にせず、庭に生えているグリーンや枝ものを気軽に活けて、インテリアを素敵に演出してはいかがでしょうか？



2. スキップフロアのある暮らし

スキップフロアとは半階分づつずれながら連続する層構成のことで、レベル差のある複数の床をもつ建物の層構成をスキップフロアということも多く、最近の住宅にも採用されることが増えてきました。狭小地など限られた土地に計画する際に有効です。今回は、スキップフロアの採用例をご紹介します。



メリット&デメリット

スキップフロアは、ひとつの空間の中に異なるフロアレベルのスペースがあり、家族の気配を感じながらも個の時間を楽しむことができます。階段が廊下代わりになり居室スペースを広く取ることができ、狭小地におすすめです。階段が増えバリアフリーにならない、構造が複雑で建築工費が割高になる、壁を設けないケースが多いため、空調が効きにくく、音や臭い等も家中に回りやすい、というデメリットがあります。

